

あれこれ 町政を問う

Q インフラの整備について

A 長寿化修繕計画を策定し整備していく



八束 正 議員

問 全国で公共施設（インフラ）の老朽化問題が出始めている。町のインフラ整備箇所がどの程度あり、維持、管理法や今後の対策は。

答 副町長

町が管理する長さ2メートル以上の道路橋が現在201橋ある。その内、劣化や損傷の進行が認められるものが119橋あり、50年以上のものも4橋ある。

今後、補修や架け替えに多額の費用が必要となる。平成24年度に橋梁長寿化計画を策定し、損傷

皆が使う橋も老朽化が進んでいる



橋の裏もこんなに

が軽微な段階から対応し、低コストで安全を確保し延命を図る。

道路は、25年度に延長50キロメートルの路面調査を行い、舗装点検修繕計画業務を策定する。

町営住宅は、338戸あり141戸が耐用年数を過ぎていく。平成23年

3月に策定した町公営住宅等長寿化計画を基に用途廃止や建替えを行う。

学校施設は、平成22年度から小・中学校の耐震化工事を行い、耐震率は現在71・4%で今後継続していく。

問 孤立死対策は

誰も看取ることなく息を引きとり、その後相当期間放置されている孤立死が全国でも問題になっている。

町の考え方や対策は。

答 未然防止に努めよう

保健福祉部長

町では、誰にも看取られることなく亡くなったケースが24年度数件あった。

独居高齢者が約600名おり、定期的に訪問する事業、安否確認を兼ねて食事を配達する事業や急病時に緊急連絡ができる事業を実施している。



♪仲間が集まり楽しく 1・2・3♪～

のふれあい・いきいきサロンの立ち上げ、運営の支援や地区集会所に高齢者が集まりやすくする支援も行っている。

独居高齢者の実態と安否確認を兼ねた日本郵便株式会社への委託による2次予防を実施している。

今後も、各種事業を通じて高齢者とかかわりの機会を増やしていくことで孤立死の未然防止に努めたい。

